



第50期
おかげさまで

〈第2四半期〉 **株主通信**

2022年4月1日 >>> 2022年9月30日

(単位：百万円、単位未満は切捨て)



代表取締役社長
大上 誠一郎

■ 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコ業界におきましては、パチンコホールでは営業店舗数が年々減少する厳しい市場環境のなか、徹底した感染症対策を講じながら営業を継続しており、遊技機の稼動状況(前年同期比)につきましては、7月～9月の期間平均で101.7%となりました。種別稼動状況につきましては、パチンコ機は昨年度末に登場した遊技機がファンから高い支持を得ており、7月～9月の期間平均は103.0%と堅調に推移しました。一方、パチスロ機では7月～9月の期間平均は98.5%となりましたが、6月よりパチスロ6.5号機の導入が本格的に始まり、ファンから高い支持を得た遊技機登場の効果もあり、9月単月では101.2%となるなど、6.5号機への注目が集まっております(当社[DK-SIS]データ比較)。

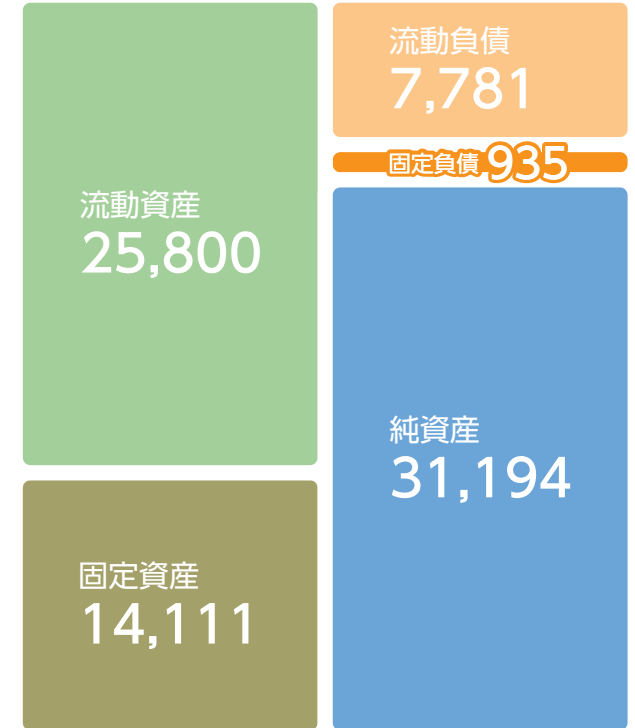
さらに、7月19日に開催された、パチンコ業界関係者向けのスマート遊技機フォーラム以降、パチンコホールのスマート遊技機(スマートパチスロ・スマートパチンコ)への期待感は一気に高まり、導入に向けた準備・設備投資が活発になっております。市場への導入予定時期は、スマートパチスロが2022年11月、スマートパチンコが2023年春頃となっております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、11月より市場投入が進んでいるスマート遊技機のデータ管理に最適なAIホールコンピュータ[X(カイ)]へシステムアップによる入替促進を提案しました。また、8月には今年で19年目を迎えた「DK-SIS白書」2022年度版(2021年データ)を発刊しました。本書はパチンコホールから日々送信される約140万台(市場シェア36.8%)、年間売上7.1兆円という大規模かつ正確な営業データを集計・分析したもので、年間の分析結果を掲載し、業界関係の皆さまには将来を見通す上での指標としてご活用いただいております。

制御システム事業におきましては、第1四半期に引き続き、既存のパチンコ機に加え、事業領域拡大のため、パチスロ機の開発体制の強化及び製造環境の整備に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高112億89百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益7億49百万円(同13.2%減)、経常利益8億71百万円(同5.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億70百万円(同15.9%減)となりました。

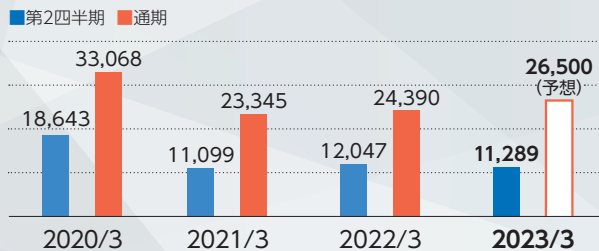
2023年3月期第2四半期 資産の状況



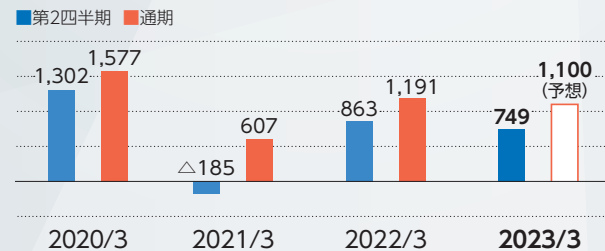
業績ハイライト

(単位:百万円、単位未満は切捨て)

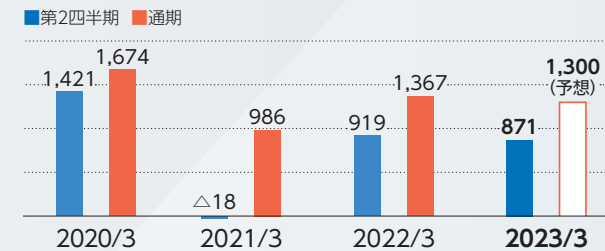
■ 売上高



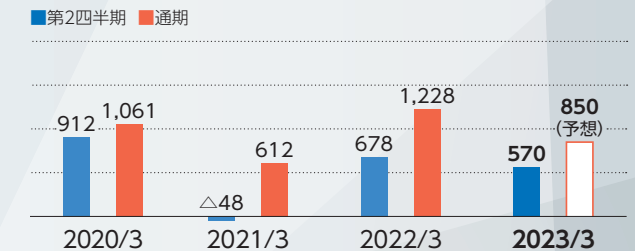
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



らく替 オプション

6月

「楽しく入替運用オプション」をリリース

新たなMIRAIGATEサービスである「楽しく入替運用オプション」をリリースしました。これは、遊技台の入替時の設定変更において、今まで1回の入替につき30分から2時間程度要していたことが、わずか1分で完了できるサービスです。このサービスにより、業務時間の大幅削減、及び手入力によるミスがなくなることが期待できます。

6月20日～24日

「DK-SISオンラインセミナー 躍進」開催

毎年、業界向けに開催しているセミナーでは、最新の業界動向や、今後の業績向上につながるさまざまな営業手法の解説を行っています。新型コロナウイルスまん延以降もそのあゆみを止めることなく、今年開催した「DK-SISオンラインセミナー 躍進」には約5,000名の方にご視聴いただきました。



April

May

June

July

August

September

4月27日

依存症チェックゲームをリリース

パチンコ業界特有の社会課題である「ギャンブル依存症」への対応策のひとつとして、ギャンブル依存度を手軽にチェックできるスマートフォン向けゲーム「チェツパチ」をリリースしました。



5月～

親子プログラミング体験教室を開催

愛知県春日井市と小牧市の2会場にて、「親子プログラミング体験教室」を5月14日(土)より土日計12回開催し、154組の皆さまにご参加いただきました。11月5日(土)からは常設教室も開講しており、今後も継続・拡大していく計画です。



8月20日

「中日SDGsフェア」に出展

ウインクあいちで開催された「中日SDGsフェア」(中日新聞社主催)に参加し、当社のSDGsの取組みをパネルや動画等で紹介するブース出展を行いました。

また、大学生が企業や団体のSDGsの取組みを取材・発表する「SDGsプレゼンテーション」には、取材を受ける側の企業として参加し、「学生アンバサダー」である東海学園大学の皆さまに、当社のSDGsの取組みを発表していただきました。



9月9日・10日

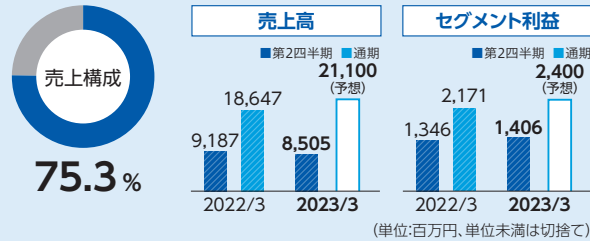
「名証IRエキスポ2022」に出展

名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)で開催された「名証IRエキスポ2022」に参加し、ブース出展を行いました。3年ぶりの開催となる当イベントは、2日間で5,400名の来場があり、当社ブースにも多くの方々にお越しいただきました。ブースにお越しいただいた方には、1対1でパチンコ業界の現状や会社業績、株主優待などの株主還元について説明を行いました。



情報システム事業

パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売



●ホールコンピュータ | ホール経営用のコンピュータ



●情報公開機器 | 遊技ファン用のデータ表示機



●サイトセブン | 遊技ファン用のデータ閲覧スマホサービス

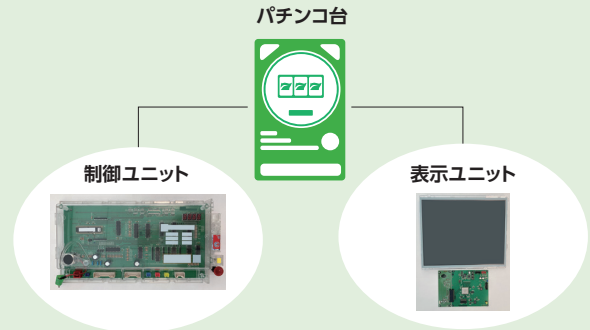
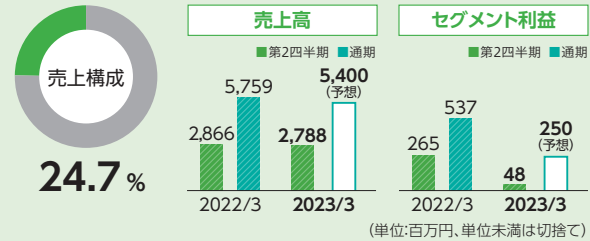


当期の営業概況

11月より市場投入が進んでいるスマート遊技機の動向を探る動きもあり、新規出店や大規模改装工事を控える厳しい状況となりましたが、スマート遊技機への期待感から、導入に向けた事前の設備投資が活発になってきております。このような市場環境のもと、「パチンコホール向け製品等」の売上は、世界的な半導体不足の影響のため、販売台数を調整せざるを得ない対応となり、前年同期を下回りました。「サービス」売上ににつきましては、「FMGサービス」など主要なサービスは堅調に推移したものの、コンピュータビジネスが伸び悩んだこともあり、前年同期から微減となりました。

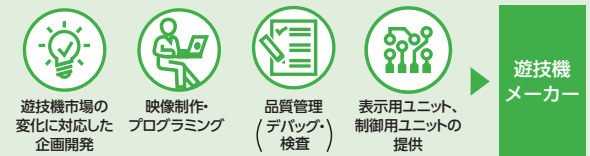
制御システム事業

パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売



基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



当期の営業概況

前期に実施された新規規機への入替が完了したことによる反動と、11月より市場投入が進んでいるスマート遊技機の動向を探る姿勢が見られ、上期は市場全体における遊技機販売台数は減少しました。このような市場環境のもと、表示ユニット及び制御ユニット販売は前年同期を下回りましたが、部品販売は好調に推移し、前年同期を上回りました。

※セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1965年 9月

設立 1973年 7月

資本金 6億7千4百万円

本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

従業員数 単独: 399名 連結: 604名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売

決算期 3月31日

事業所 3事業所、4支店、13営業所

連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

役員

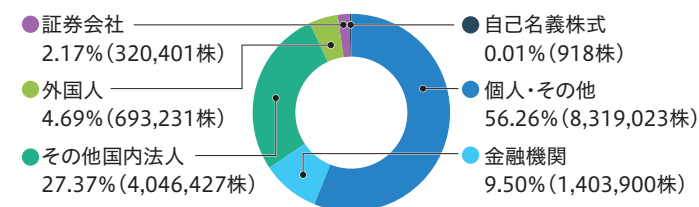
代表取締役会長	栢 森 雅 勝
代表取締役社長	大 上 誠 一 郎
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	大 成 俊 文
取締役	足 立 芳 寛
取締役	櫻 井 由 美 子
常勤監査役	吉 川 幸 治 一
監査役	中 島 健 一
監査役	森 田 幸 典 之
監査役	今 井 宣 之

(注) 1. 取締役 足立芳寛氏、櫻井由美子氏は社外取締役であります。
2. 監査役 中島健一氏、森田幸典氏、今井宣之氏は社外監査役であります。

執行役員

執行役員	岡 本 篤 憲
執行役員	加 藤 忠 芳
執行役員	尾 関 貴 夫
執行役員	入 江 明 久
執行役員	石 原 敬 久
執行役員	猪 飼 俊 光

所有者別株式分布状況



株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株

発行済株式総数 14,783,900 株

株主数 19,096 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社KCプラス	1,199,200	8.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,028,600	6.95
栢森 雅勝	924,250	6.25
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
株式会社大黒屋	750,000	5.07
ダイコク興産株式会社	490,000	3.31
栢森 寿恵	443,500	3.00
栢森 将豪	443,500	3.00
栢森 綾音	443,500	3.00
栢森 新治	443,450	2.99

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 一単元の株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒460-8685
 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社
 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
 電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
 事由によって電子公告ができない場合は、
 日本経済新聞に掲載いたします。
- 公告のホームページアドレス <https://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度のご案内

2022年3月期に再開した株主優待制度につきまして、当社では今期も引き続き実施しております。毎年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された100株以上をご所有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じてオリジナルQUOカードを贈呈いたします。お届けは毎年12月上旬に発送しておりますこちらの「第2四半期株主通信」に同封しておりますので、ご利用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお祈りいたします。



こちらの
株主通信に
同封!

保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上 ～500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上 ～1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

※継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に連続で記載または記録されていることをいいます。